



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 株式会社サンリオ 上場取引所 東
コード番号 8136 URL <http://www.sanrio.co.jp/corporate/ir/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 朋邦
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 岸村 治良 (TEL) 03-3779-8058
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	43,930	43.4	13,307	148.9	14,201	153.2	10,506	249.0
2023年3月期第2四半期	30,630	28.7	5,346	—	5,608	781.3	3,010	54.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 13,101百万円(83.1%) 2023年3月期第2四半期 7,156百万円(87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	130.27	—
2023年3月期第2四半期	37.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	121,663	67,936	55.5
2023年3月期	100,704	56,295	55.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 67,563百万円 2023年3月期 56,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2024年3月期	—	22.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,300	23.0	18,800	41.9	20,200	47.2	14,400	76.5	178.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	89,089,701株	2023年3月期	89,065,301株
2024年3月期2Q	8,423,217株	2023年3月期	8,422,649株
2024年3月期2Q	80,649,383株	2023年3月期2Q	80,575,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行にともなう社会経済活動の正常化に加え、外国人観光客による消費が活発化し、国内景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、欧州における紛争の長期化、世界的な資源価格の上昇や為替変動による物価上昇などにより、消費者の生活防衛意識が高まることが懸念されるなど、依然として先行きが不透明な状況は継続しております。

このような状況のなか、当社グループは2024年3月期を最終年度とする3ヶ年の中期経営計画「未来への創造と挑戦」の最終年度として、「組織風土改革」「国内外構造改革の着手・完遂」「再成長の戦略や成長市場への種まき」を3本柱とする各種施策を着実に推し進めております。

国内の店舗・テーマパークは、様々な施策が順調に進んだことに加え、新型コロナウイルス感染症の分類移行により国内客が増加するとともに、外国人観光客が急増しており、大幅増となった客数が売上高を押し上げました。また、ライセンス事業は国内外ともに複数キャラクター展開などの戦略的な施策が奏功し、既存ライセンスの商品展開が増加するとともに新規ライセンスの獲得も進み、売上高が伸長いたしました。

なお、サンリオファン会員向けアプリ「Sanrio+」の会員数は9月末現在で約161万人となりました。

連結営業損益に関しては、国内外ともに大幅増収したことに加え、構造改革を通じて営業費用をコントロールしたことにより収益性が向上し、大幅増益となりました。

以上の結果、売上高は439億円（前年同期比43.4%増）、営業利益は133億円（前年同期比は148.9%増）、経常利益は142億円（前年同期比153.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億円（前年同期比249.0%増）となりました。

なお、すべての海外連結子会社の決算期は1月～12月であり、当第2四半期連結累計期間の対象期間は、2023年1月～6月であります。

〔報告セグメント〕

(単位：億円)

		売上高				セグメント利益（営業利益）			
		前第2 四半期	当第2 四半期	増減	増減率	前第2 四半期	当第2 四半期	増減	増減率
日本	物販その他	175	252	77	43.9%	40	96	56	139.4%
	ロイヤリティ	48	64	16	33.2%				
	計	224	317	93	41.6%				
欧州	物販その他	△0	△0	0	—	△1	1	3	—
	ロイヤリティ	8	11	3	39.5%				
	計	8	11	3	39.9%				
北米	物販その他	9	9	0	4.3%	2	12	9	360.4%
	ロイヤリティ	16	31	15	95.2%				
	計	25	40	15	62.6%				
南米	物販その他	0	0	0	17.2%	0	0	0	155.2%
	ロイヤリティ	2	3	1	50.4%				
	計	2	3	1	48.7%				
アジア	物販その他	3	6	3	107.3%	18	28	9	51.1%
	ロイヤリティ	43	59	16	37.6%				
	計	46	66	19	42.1%				
調整額		—	—	—	—	△7	△6	0	—
連結	物販その他	187	268	80	43.0%	53	133	79	148.9%
	ロイヤリティ	118	170	52	44.0%				
	計	306	439	133	43.4%				

(注) 海外地域の子会社は、ロイヤリティ収入に対して相応の額を売上原価として著作権所有者である日本の親会社に支払っており、それを親会社は売上高として計上しておりますが、連結消去されるため、上表の日本の売上高にはその相当額は含まれておりません。セグメント利益(営業利益)には反映されております。

なお、ここに示す売上高は、外部顧客に対する売上高であり、前述のロイヤリティに限らず報告セグメント間売上高は内部取引高として消去しております。

① 日本：売上高317億円(前年同期比41.6%増)、営業利益96億円(前年同期比139.4%増)

1. 国内営業本部(物販事業・ライセンス事業)

2023年4月、シナジー効果を発揮し全社利益最適化に貢献すべく、物販事業本部とライセンス営業本部を統合し、国内営業本部に名称変更いたしました。

物販事業は、新型コロナウイルス感染症の分類移行にともなう社会経済活動の正常化により人流が活発となり、店舗の客数が大幅に増加いたしました。また、外国人観光客の増加が継続しており、都心や観光地を中心に店舗の売上高を大きく押し上げました。また、過去最多となる総得票数4,448万票を記録した人気投票イベント「2023年サンリオキャラクター大賞」(4/11~5/26)は、投票イベント終了後に販売したイベント限定商品「私のNo.1シリーズ」が好調に推移し、人気キャラクターの王冠&正装スタイルがかわいいと話題を集めました。商品カテゴリーでは、他社の人気キャラクターとのコラボレーションアイテムに加え、マスコットホルダー、キーホルダー類のアクセサリ、推しを楽しく応援するためのグッズ「エンジョイアイドルシリーズ」の人气が継続いたしました。

ライセンス事業は、複数キャラクター戦略が引き続き奏功しており、既存ライセンスの商品展開が増えるとともに、新規ライセンスの獲得も進み、売上高が伸びました。商品化ライセンスは、「2023年サンリオキャラクター大賞」と連動した商品やインバウンド需要の高まりにより、お土産品が好調に推移いたしました。また、デパ地下で人気の洋菓子店とのコラボレーションが話題を集めました。広告化ライセンスは、顧客課題に合わせたキャラクター提案が奏功しており、商業施設や外食、菓子・食品など様々な業態のキャンペーンで採用されました。

営業損益については、売上高の大幅増により、大幅増益となりました。

2. テーマパーク事業

サンリオピューロランド(東京都)とハーモニーランド(大分県)は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴い、国内客が増加するとともに外国人観光客が急増し、売上高を押し上げました。

サンリオピューロランドでは、分類移行後にキャラクターとの握手やハグなどの触れ合いや同施設最大の人気エンターテイメント「Miracle Gift Parade」を3年ぶりに再開したため、有料席や関連商品が好調に推移いたしました。また、キャンプをテーマとした初企画のイベント「ピューロランドキャンプ」(7/7~9/5)を開催いたしました。同イベントでは、新作ショー「Chilling! Hot! キャンプふぁいやー」の上演やフォトスポット、商品・飲食メニューが集客・売上高増に貢献いたしました。

ハーモニーランドは、新規イベント「HAPPY EASTER」(3/27~5/30)や「とっておきのRainy Day」(6/2~7/11)、夏季限定の新パレード「Iceful Parade」(7/14~9/5)、ニューアトラクション「ウォーターショット」(7/14~)などが客数増に貢献いたしました。また、これらの新規イベントと連動したオリジナル商品や値上げした入園チケットが客単価を押し上げ、売上増に寄与いたしました。

営業損益は、両施設の売上高が大幅に増えたことが寄与し、増益となりました。

② 欧州：売上高11億円(前年同期比39.9%増)、営業利益1億円(前年同期は営業損失1億円)

ライセンス事業は、フランスの有名ブランドとのコラボレーションや大手ライセンスとの取り組みが継続し、ブランド価値が向上いたしました。カテゴリー別の動向について、アパレルカテゴリーは既存ライセンスや大手アパレルとの取り組みが奏功いたしました。フットウェアカテゴリーは、有名ブランドとのコラボレーションによるグローバル展開したミックスキャラクターのスニーカーが好調に推移いたしました。デジタルカテゴリーは、昨年11月に配信されたリズムゲームが売上高を伸ばするとともに、認知度向上に寄与いたしました。

『ミスターメンリトルミス』は、新規ライセンスが好調に推移したアパレルカテゴリーが伸びた

しました。また、玩具カテゴリーは、米国の既存ライセンシーとの継続的な取り組みが奏功し、好調に推移いたしました。

営業損益は、売上高の大幅増に加え販管費の抑制により、黒字に転換いたしました。

③ 北米：売上高40億円（前年同期比62.6%増）、営業利益12億円（前年同期比360.4%増）

物販事業（自社EC）は、引き続き好調に推移いたしました。特にカメラやコスメ、新規ライセンシーのフットウェアが人気を博しました。

ライセンス事業は、アパレルや玩具、ヘルス&ビューティーカテゴリーが好調に推移いたしました。

アパレルカテゴリーは、既存ライセンシーとの取り組みが引き続き好調に推移するとともに、有名アニメキャラクターとのコラボレーションが認知度向上に寄与いたしました。玩具カテゴリーは、昨年12月に大手メーカーと中長期契約を締結し、同メーカーが持つ様々な玩具品でサンリオキャラクターが採用されており、また、他社キャラクターとコラボレーションしたぬいぐるみや「Hello Kitty&Friends」のフィギュアなどが好調に推移いたしました。ヘルス&ビューティーカテゴリーは、『マイメロディ』『クロミ』『リトルツインスターズ』のコスメアイテムが好調に推移いたしました。フットウェアカテゴリーは、有名ブランドとコラボレーションした商品が再販されるなど注目を集め、ブランド認知の強化および売上高の伸長に寄与いたしました。その他、メジャーリーグベースボール（MLB）と協業のオフラインイベントを定期的に開催しており、顧客接点強化にも努めております。

営業損益については、売上高の大幅伸長により、大幅増益となりました。

④ 南米：売上高3億円（前年同期比48.7%増）、営業利益85百万円（前年同期比155.2%増）

南米全体は、ヘルス&ビューティー、バッグ、文具、企業特販カテゴリーのライセンス事業が好調に推移いたしました。また、200以上のライセンシーが集まるイベントの開催や展示会などへの参加を通じて、認知度を向上しております。

メキシコは、ハローキティカフェの人気が続いている企業特販カテゴリー、衛生商品や香水が好調のヘルス&ビューティーカテゴリー、スニーカーやビーチサンダルが人気のフットウェアカテゴリーが好調に推移いたしました。ペルーは、通学バッグの需要が増加し、バッグカテゴリーが売上を牽引いたしました。チリは、文具やアパレルカテゴリーが好調に推移いたしました。

営業損益については、売上高の大幅伸長により大きく改善いたしました。

⑤ アジア：売上高66億円（前年同期比42.1%増）、営業利益28億円（前年同期比51.1%増）

香港・マカオ地区は、ライセンス事業において、金融機関との継続的なプロモーションにより、企業特販カテゴリーが売上高を牽引いたしました。物販事業においては、商業施設（九龍塘）に同地区としては初となるコンセプトストアが期間限定オープン（5/16～11/30）し、顧客との接点拡大に貢献しております。

台湾は、ライセンス事業において、企業特販やデジタルカテゴリーが好調に推移し、売上高の増加に貢献いたしました。

韓国は、前期に実施した韓国大手芸能事務所所属のアイドルグループとのコラボレーションをきっかけにZ世代への認知度およびブランド価値が向上しており、新規ライセンシーの獲得に加え既存ライセンシーの商品展開が引き続き拡大いたしました。ライセンス事業において、通信販売に強みを持つ衛生商品メーカーや新規獲得した韓国コスメブランドとのコラボレーションが好調に推移し、ヘルス&ビューティーカテゴリーが伸長いたしました。

中国は、2023年1月からマスターライセンス契約先をアリババグループのアリフィッシュへと変更いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大により2023年初頭はビジネス活動が鈍化したものの、ヘルス&ビューティー、玩具&ホビーカテゴリーが伸長いたしました。また、同国では複数キャラクター展開が奏功しており、『シナモロール』『クロミ』に加え『ポチャッコ』なども注目を集めました。

東南アジアは、タイが売上高を牽引いたしました。特に同国最大のコンビニエンスストアとのコラボレーションが売上高の増加に寄与いたしました。

営業損益については、アジア各国における全体的な売上高の伸びが寄与し、増益となりました。

参考：海外子会社 売上高・営業利益（現地通貨ベース：連結消去前個別財務諸表数値）

	売上高			営業利益
	ロイヤリティ	物販	計	
ドイツ 千EUR	5,776	176	5,952	735
(前年同期比増減%)	44.3	129.1	45.9	—
英国 千GBP	2,101	—	2,101	626
(前年同期比増減%)	△1.8	—	△0.9	85.4
北米 千USD	23,138	7,152	30,291	9,160
(前年同期比増減%)	76.9	△3.9	47.5	315.9
ブラジル 千BRL	13,281	913	14,194	3,177
(前年同期比増減%)	36.2	32.0	35.9	129.6
チリ 千CLP	—	5,081	5,081	△874
(前年同期比増減%)	—	△9.5	△9.5	—
香港 千HKD	23,104	17,298	40,402	8,487
(前年同期比増減%)	△2.5	51.4	15.0	25.3
台湾 千NTD	138,342	9,160	147,503	35,180
(前年同期比増減%)	14.1	43.7	15.6	8.0
韓国 千KRW	12,212,266	200,349	12,412,616	4,677,641
(前年同期比増減%)	142.0	125.5	141.7	248.7
中国 千CNY	154,484	116,493	270,977	95,006
(前年同期比増減%)	19.5	247.6	66.5	33.6
シンガポール 千USD	4,465	886	5,351	1,126
(前年同期比増減%)	28.4	21.8	27.2	28.8

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,216億円で前連結会計年度末比209億円増加しました。主な増加項目は現金及び預金135億円、売掛金23億円、商品及び製品16億円、投資有価証券5億円です。

負債の部は537億円で前連結会計年度末比93億円増加しました。主な増加項目は有利子負債（1年内償還予定社債を含む）44億円、支払手形及び買掛金19億円、未払法人税等12億円、契約負債7億円です。

純資産の部は、679億円で前連結会計年度末比116億円増加しました。主な増加項目は利益剰余金88億円、為替換算調整勘定30億円、その他有価証券評価差額金6億円です。主な減少項目は退職給付に係る調整累計額11億円です。

自己資本比率は55.5%で前連結会計年度末比0.1ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきまして、外部環境面で欧州における紛争の長期化、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響により先行きが不透明な状況が続いておりますが、連結業績が計画を上回って着地したことを受け、通期連結業績予想に織り込むとともに、第3四半期連結会計期間以降におきましても計画を見直した結果、通期連結業績予想を修正するものであります。

詳細につきましては、本日（2023年11月2日）公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

(参考) 海外地域別損益～第2四半期の3期推移

(単位：百万円)

地域		外部顧客に対する売上高					営業利益				
		2021/9	2022/9	増減率 (%)	2023/9	増減率 (%)	2021/9	2022/9	増減率 (%)	2023/9	増減率 (%)
欧州	ドイツ	465	538	15.8	847	57.4	△204	△164	—	108	—
	英国	288	262	△8.8	272	3.9	82	13	△83.5	63	371.9
	小計	753	801	6.4	1,120	39.9	△122	△151	—	172	—
北米	米国	1,318	2,515	90.7	4,088	62.6	△323	271	—	1,248	360.4
南米	ブラジル・チリ	167	250	49.2	371	48.7	19	33	73.7	85	155.2
アジア	香港	780	592	△24.1	707	19.4	255	146	△42.5	188	28.4
	台湾	471	518	9.8	624	20.5	129	140	8.0	156	11.5
	韓国	241	507	110.4	1,291	154.4	26	134	410.7	491	266.2
	中国	2,342	2,533	8.2	3,282	29.5	1,003	1,349	34.5	1,849	37.1
	シンガポール	—	502	—	708	40.9	—	107	—	153	42.2
	小計	3,835	4,655	21.4	6,614	42.1	1,414	1,878	32.8	2,838	51.1
合計		6,075	8,221	35.3	12,195	48.3	988	2,031	105.6	4,344	113.8

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,008	65,595
受取手形	313	345
売掛金	8,392	10,750
商品及び製品	3,894	5,584
仕掛品	299	523
原材料及び貯蔵品	348	268
未収入金	441	516
その他	1,210	1,438
貸倒引当金	△156	△165
流動資産合計	66,752	84,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,296	3,347
土地	6,140	6,160
その他（純額）	3,914	4,271
有形固定資産合計	13,350	13,779
無形固定資産		
投資その他の資産	2,244	2,592
投資有価証券	9,720	10,273
繰延税金資産	145	56
その他	8,816	10,407
貸倒引当金	△332	△305
投資その他の資産合計	18,350	20,431
固定資産合計	33,946	36,803
繰延資産	5	3
資産合計	100,704	121,663
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,074	5,994
短期借入金	9,086	10,351
未払法人税等	1,563	2,779
契約負債	4,062	4,810
賞与引当金	638	769
株主優待引当金	39	37
ポイント引当金	8	8
その他	8,273	6,349
流動負債合計	27,746	31,101
固定負債		
社債	141	90
長期借入金	10,378	13,864
退職給付に係る負債	1,020	1,032
その他	5,121	7,638
固定負債合計	16,662	22,625
負債合計	44,408	53,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,074
資本剰余金	3,468	3,543
利益剰余金	56,211	65,104
自己株式	△19,528	△19,530
株主資本合計	50,152	59,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	1,055
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	1,707	4,753
退職給付に係る調整累計額	3,758	2,559
その他の包括利益累計額合計	5,853	8,370
非支配株主持分	290	373
純資産合計	56,295	67,936
負債純資産合計	100,704	121,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	30,630	43,930
売上原価	9,211	11,630
売上総利益	21,418	32,299
販売費及び一般管理費	16,072	18,992
営業利益	5,346	13,307
営業外収益		
受取利息	201	421
受取配当金	117	96
為替差益	266	176
投資事業組合運用益	-	187
その他	140	183
営業外収益合計	725	1,065
営業外費用		
支払利息	77	87
支払手数料	72	50
投資事業組合運用損	282	-
その他	32	32
営業外費用合計	464	171
経常利益	5,608	14,201
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	283	-
関係会社清算益	-	538
その他	2	-
特別利益合計	286	538
特別損失		
固定資産処分損	11	0
投資有価証券売却損	-	12
投資有価証券評価損	210	-
減損損失	1	1
その他	-	2
特別損失合計	222	17
税金等調整前四半期純利益	5,671	14,722
法人税、住民税及び事業税	1,079	3,439
過年度法人税等	1,297	-
法人税等調整額	247	725
法人税等合計	2,624	4,164
四半期純利益	3,047	10,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,010	10,506

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	3,047	10,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	671
繰延ヘッジ損益	10	-
為替換算調整勘定	3,940	3,071
退職給付に係る調整額	114	△1,199
その他の包括利益合計	4,109	2,543
四半期包括利益	7,156	13,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,076	13,024
非支配株主に係る四半期包括利益	79	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	22,408	801	2,515	250	4,655	30,630	—	30,630
(うちロイヤリティ売上高)	(4,833)	(804)	(1,611)	(236)	(4,354)	(11,840)	(—)	(11,840)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,763	11	13	4	622	4,414	△4,414	—
(うちロイヤリティ売上高)	(3,372)	(0)	(—)	(—)	(—)	(3,373)	(△3,373)	(—)
計	26,171	812	2,528	254	5,277	35,044	△4,414	30,630
セグメント利益又は損失(△)	4,027	△151	271	33	1,878	6,059	△712	5,346

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 △712百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	31,734	1,120	4,088	371	6,614	43,930	—	43,930
(うちロイヤリティ売上高)	(6,438)	(1,122)	(3,146)	(355)	(5,990)	(17,053)	(—)	(17,053)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,830	29	30	9	2,109	8,009	△8,009	—
(うちロイヤリティ売上高)	(5,385)	(1)	(—)	(—)	(—)	(5,387)	(△5,387)	(—)
計	37,565	1,150	4,118	381	8,724	51,939	△8,009	43,930
セグメント利益	9,640	172	1,248	85	2,838	13,985	△678	13,307

- (注) 1. セグメント利益の調整額 △678百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。